



対話塾開講

地方から新しい時代を拓く政治家を育てる

この度、対話の会の代表を務めさせていただくことになりました。政策提案及び、新しい仲間づくりのために「対話塾」を開講いたしました。そこで、地域の課題や滋賀県ならではの政策づくりなど、みなさんと一緒に勉強を始めたいと思います。

対話塾 開催要項

- 目的** 地域主権社会に向けて、地方から新しい政治をつくる政治家を育てる
- 対象** 年齢・性別を問わず、志を持った人
- 会場** コミュニティセンターやす(第2,3,4,5,7,8回) ピアザ淡海(第1,6回)
- 受講費** 基本 1,000円/回
- お申し込み** 清水てつじ事務所へお申し込みいただけます。インターネットによるお申し込みもできます。

開講式	10月23日(土)午後7時~(終了)
「かだマニフェスト2010実現のために」総論他	
第一回	10月31日(日)午後6時30分~ 「人生編・子育て・子育て政策について」他
第二回	11月7日(日)午後3時~ 「働く場への橋かけ・雇用政策について」他
第三回	11月14日(日)午後2時~ 「地域を支える医療福祉・在宅看護政策について」他
第四回	11月21日(日)午後4時~ 「低炭素社会実現のための政策について」他
第五回	11月28日(日)午後4時~ 「琵琶湖の再生政策について」他
第六回	12月4日(土)午後2時~ 「滋賀の未来成長戦略政策について」他
第七回	12月11日(土)午後2時~ 「滋賀の魅力まるごと産業化政策について」他
第八回	12月12日(日)午後2時~ 「みんなで命と暮らしを守る安全・安心政策について」他

※嘉田由紀子知事は全日程に出席予定です。
※詳細は「対話てつごう滋賀の会」ホームページをご覧ください。

Q 捕獲の実績頭数について。
A 琵琶湖環境部長 ニホンジカは、県内を4つの地域に分けて目標頭数を設定しており、大津市北部・高島地域は目標3,100頭に対して捕獲実績は3,071頭です。



Q シカ捕獲の助成について、狩猟期間内も助成対象にすべきではないか。国の助成がなくなるが、県民税も省いた対策について。
A 琵琶湖環境部長 県民税による助成は、現在は個体数調整のために実施する捕獲のみで、捕獲効率のよい狩猟期間内の助成を検討します。また、国の支援を受けているのは高島市のみですが、今後県民税を含め、助成の検討を進めます。

9月定例県議会 一般質問にたちました

度から2府5県の関西広域連合をはじめ、ドクターヘリの運行も始まります。高島市においては、公立高島病院に対する、国県から多くの助成金、近江高島駅のバリアフリー化、獣害対策支援の増額など、県と市が連携しながら多くの財源を獲得しております。これからも、高島市の発展のために、より一層努力してまいります。皆様のご声援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



秋冷の心地よい季節、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。9月定例議会も終わりに、来年

Q ニホンジカの個体数調整の緊急性について。
A 琵琶湖環境部長 農林業被害はもちろん自然植生への影響も出ており、一刻も早く個体数を減少させる必要があります。また、捕獲をしないと毎年1.27倍に増えると推定され、特定鳥獣保護管理計画に基づき、緊急かつ着実に対策を進めます。

Q インシシ被害が拡大している原因、今後の対策について。
A 琵琶湖環境部長 被害の拡大の原因は、①耕作放棄地などインシシの隠れ家が増えている、②防護柵を設置しても隣接の集落に被害が分散している、③防護柵の設置の仕方が不十分で侵入を許していることです。インシシの積極的な捕獲の推進、市町や関係団体とともに啓発や技術支援も強化します。

Q 公共建築物の木造化に向けた取り組みや林業再生に向けた国の予算獲得について。
A 琵琶湖環境部長 木材利用促進法の施行を受け、公共施設や公共工事で層の推進を検討し、滋賀県産木材利用指針に反映します。公共施設での木材利用には、技術的、コスト削減の問題もあり、市町や事業者への技術の普及にも努めます。森林所有者の積極的な森林経営や公共施設の木造化、県産木材安定供給体制の整備等を確実に推進していくため、国に予算確保を働きかけます。

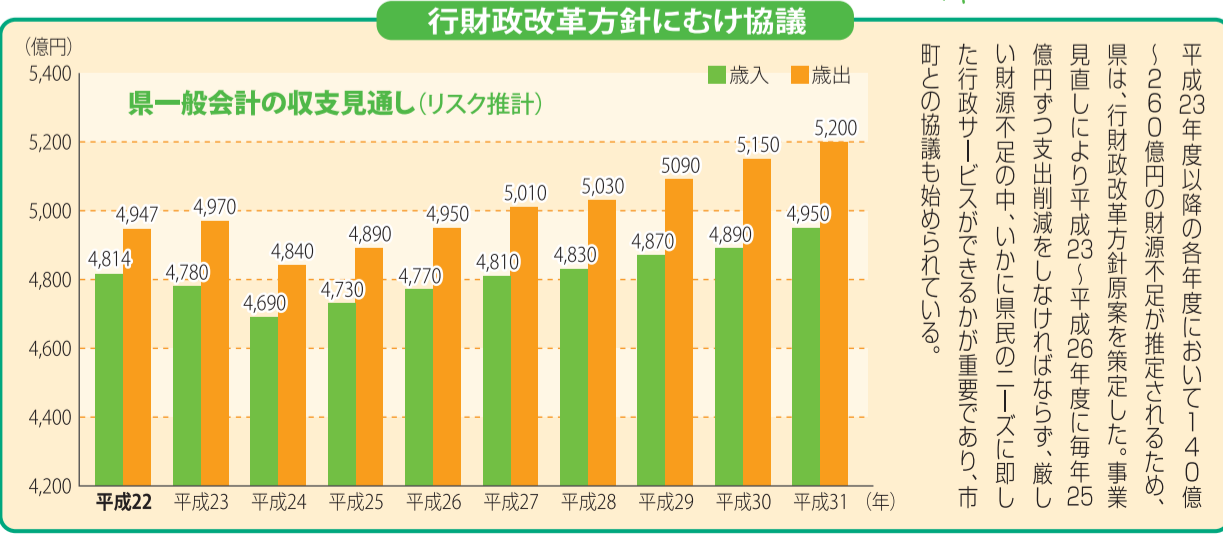


滋賀県難病対策推進議員連盟の研修会
10月6日、会議の合間を縫って厚生労働省担当者や講師を迎え、「国の難病対策の現状と課題」をテーマに実施されました。難病患者の方も一緒に出席され、意見交換を通じて現状把握や今後の課題について話し合われました。引き続き難病患者や家族の皆さんの支援に取り組めます。

資源循環型地域社会へ新たな発想
琵琶湖の外來魚と水草を活かせるように、何度も陳情にいられた。駆除された外來魚や水草を地産地消の観点から再利用し、畜産・園芸農家の活性化を図る提案を、飼料化されたサンプルを拝見しながら熱心な説明を受けました。県民の方からの意見を取り入れ、今後の活動に活かしていきます。

飼料化されたサンプル

会派活動報告
栗東新駅跡地で現状調査
9月議会にて、栗東新幹線新駅計画の中止による後継プランに伴い、栗東市へ支援金を交付すること、骨格道路整備事業のための栗東市土地開発公社へ貸付を行ったための議案が可決されました。私たちは現地へ行き、現状把握と課題を調査しました。すでに造成工事は始まっていますが、栗東市が中心となる事業で、残りの用地買収の課題もふまえて、県としても、連携していきます。



江を契機に滋賀をアピール
来年のNHK大河ドラマに滋賀県ゆかりの人物、「江」が主人公に選ばれました。これを機に、琵琶湖を取り巻く豊かな自然や貴重な歴史・文化などの魅力を全国に情報発信するチャンスとし、県庁でも正面玄関に機でPRしています。